



概要

豊浦町は、人口4,639人の過疎地域であり、小中高校生の通学、高齢者の通院・買い物等住民生活に不可欠な交通手段は、路線バス、町営バス、専用バス等に依存している。しかし、近年、利用者も減少していることから、生活路線バス維持のための負担金や町営バス運行経費、専用バス等の運行委託経費等が財政を圧迫する要因ともなっている。このため、路線バス、町営バス、専用バス等を有効に連動し、効率的な運行や利便性の向上を図るとともに、高齢者等がより利用しやすいデマンド型交通の可能性などの調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR室蘭本線(豊浦駅、大岸駅、礼文駅)
- ・道南バス(株)(地域内3路線、都市間1路線)
- ・町営バス(山梨線、礼文華線)
- ・専用バス(循環福祉バス、スクールバス、保育所送迎バス)

地域公共交通の課題

- ・路線バスと町営バスの利用低迷
- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・交通空白地域の存在

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・町営バス運行路線を活用したデマンドバス等の試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・町営バス等の路線再編
- ・町営バス、専用バスの有効活用
- ・デマンド型交通システムの導入
- ・効率的なバス事業の経営体制整備



豊浦町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

3回開催

分科会等開催状況

-

回数は平成21年度
未までの開催予定

現況交通実態調査

・事業者等を対象に、町内で運行しているバスの運行実態等の把握を目的としたヒアリング調査を実施。(H21.11~H22.1月)

利用者ニーズ把握調査

・公共交通利用の実態と意識、要望等の把握を目的とした住民アンケート調査を実施。(H21.10~11月)

予定している連携計画の内容

町営バス等路線・ダイヤの再編(実施主体:豊浦町、実施時期:H23実施を目的に検討)

・住民や利用者のニーズを考慮した路線、運行形態(フリー乗降)及びダイヤ再編を検討。地元商店の宅配サービス等との連携を含め検討。

自己評価のポイント

事業者等ヒアリング、住民アンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図るよう努めている。

二次評価の方向

次に掲げる点についてアドバイスする。

- ・法定協議会を適時、適切に開催するとともに、連携計画の策定に当たっては、調査の結果明らかになった課題やニーズ等を十分に分析の上、同計画に記載する目標、当該目標を達成するために実施する事業の内容、実施主体、スケジュール等を具体的に検討すること。
- ・法定協議会における議論を補完する等の観点から、必要に応じて、WGや専門部会等の開催も検討すること。
- ・自己評価を適切に実施し、PDCAサイクルの確立に努めること。